

(1) 令和2年12月号

○正月三が日は境内に一三〇台の駐車場・秦野市保健福祉センター他、約五〇〇台駐車場をご用意しております。例年、車の渋滞が懸念されますが、臨時駐車場是比较的空きがあります。なるべくバスや公共交通機関のご利用にご協力願います。

※消毒液の利用、マスクの着用にご協力願います。

○四日以降 年中無休

○祈祷受付 (午前八時三〇分～午後四時三〇分)

○境内特設授与所 (正月大テント) (午前八時～午後五時)

○新年初祈祷 (午前十時～午後三時三〇分)

○三日

・祈祷受付 (午前八時三〇分～午後五時)

・境内特設授与所 (正月大テント) (午前八時～午後五時)

・龍蛇神の社特別拝観 (午前九時～午後三時三〇分)

○二日

・祈祷受付 (午前八時三〇分～午後五時)

・境内特設授与所 (正月大テント) (午前八時～午後八時)

・午前九時 龍蛇神の社特別拝観開始

・午後五時 新年初祈祷受付終了

・午後八時 授与品頒布終了

※以後 二月十五日まで提灯飾りライトアップ有  
夜間参拝可能

○二日

・祈祷受付 (午前八時三〇分～午後五時)

・境内特設授与所 (正月大テント) (午前八時～午後五時)

・午前九時 龍蛇神の社特別拝観開始

・午後五時 新年初祈祷受付終了

・午後八時 授与品頒布終了

○三日

・祈祷受付 (午前八時三〇分～午後四時三〇分)

・境内特設授与所 (正月大テント) (午前八時～午後五時)

・龍蛇神の社特別拝観 (午前九時～午後三時三〇分)

○大晦日より元日～午時まで夜間参拝ができます。

・大晦日 二十三時より新年初祈祷受付開始

・元日～午時 新年の報鼓初詣・授与品頒布開始

・午前二時三〇分 夜間祈祷受付終了

・午前二時三〇分 屋台・露店商消灯  
但し、境内は夜間ライトアップ特別警備有り

お参り・おみくじ・授与品頒布対応は翌朝まで可

## 新春初詣のご案内

令和三年初詣は分散参拝をお勧めします。ご参拝の皆様が安心してお参りできますようマスク着用にご協力ください。

初詣の社頭においては新年の干支飾りや破魔矢など豊かな出雲神楽の音色を奏で新年最初の願いを神様にお願いする。特に新年の初祈祷には無病息災の「延壽屠蘇」(えんじゅとそ)といつた特別な授与品が限定千名分用意されている(一件につき一组)。三が日には十万人以上の参拝者が訪れ、屋台の露店商も参道を埋め尽くさんばかりに出店し、三が日を通じてお参りの列は絶えない。

西側千年の森「龍蛇神の社」においては御扉を開いて、御祭神の龍蛇神様の特別拝観を斎行。

お参りの方に巫女より縁起の良いお神酒や秦野の名水を授与している。境内に

八雲庵の出張販売も行われる。

境内どこをとっても賑やかで全部回るのも一興である。一月は日暮れ時も早い

が一日いつぱい境内は早朝までライトアップされ八時

昼間と打って変わって静寂な

境内でお参りできるのでお勧めである。

令和三年は【分参】初詣一  
初詣期間は元日～月末まで

令和2年12月号

発行 出雲大社相模分祠  
神奈川県秦野市平沢1221  
TEL:0463-81-1122  
FAX:0463-82-1728  
編集兼発行人 副分祠長 草山和泉  
季刊毎年2回発行  
<https://www.izumosan.com/>

初詣の縁日 ダイコク市開催  
令和三年元日～月末まで

令和三年元日より一月末まで境内参道に於いて、ダイコク市が開催される。参拝が集中する三が日だけではなく一月全体を通して、初詣の縁日を体験できるよう昨年から開催している。

縁起の良い野点の茶会や出雲のお土産販売のほか、秦野を中心に活動する丹沢マルシェ・マーケットとの共同企画となる。たこ焼き、馬鹿棒を始め地元商店やクリーパー・アルコール・ドリンク類等やおいしいキッチンカーも出店予定。当分祠のお正月にしかない特別な

マルシェを楽しめます。

ダイコク市丹沢マルシェ・マーケットの開催日程は元

日より十一日、以降の土日

祝日を予定。終了は一月三十一日まで。

また、一月すべての日で境内に大テント特設授与所を開設し、「立春大吉縁起

「破魔矢」「干支縁起物」領

布を始め三が日にお参りで

きなかつた方の為にも新年の

初祈祷は一月いつぱい行わ

ります。

初祈祷は一月いつぱい行わ

ります。

り、参拝者に向かって新年の

いづも暦の頒布(一世帯一

万冊限定)等も執り

頂きたい。

ので是非ご参拝

ください。

(二十五人乗り)

バスを本数を増便して本年

も実施します。秦野駅南口

より当社近くまで送迎マイ

クロバスを運行。予約不要

乗車人数に限りございま

すのでご了承下さい。

△ダイコク市丹沢マルシェ・

マーケット開催日にも送迎

バスを運行。

無料でご利用できますが、

乗車人数に限りございま

すのでご了承下さい。

△去年大変好評だった送迎

バスを実施します。秦野駅南口

の御殿神社

出雲大社相模分祠

4日以降も運行

用意します。

△立春大吉縁起物

八雲庵前停留所

徒歩5分

元旦～3日八雲庵前

バス停

八雲庵前

南

出雲大社入口信号

八雲庵前

南

タクシーバス

バス乗場

北口

秦野駅

南口

タクシーバス

バス

乗場

当分祠「千年の杜」の守護神として、お祀りされる「龍蛇神様」は大地の神・水の神・金運・縁結びの御利益のあるダイコク様の御仕神様として鎮座する。「千年の杜」では慶長十四年より湧水する「ゆずりの水」が溢れ、生命力溢れる幻想的な鎮守の杜となつております。また、環境省指定の全国名水百選にも選定されるこの湧水を取りに県内外よりお水とりの人々で賑います。

千年の杜  
『龍蛇神の社』整備事業



好評だった新元号を記念して、秦野特産品のさくらを素材に奉製した開運さくら茶。

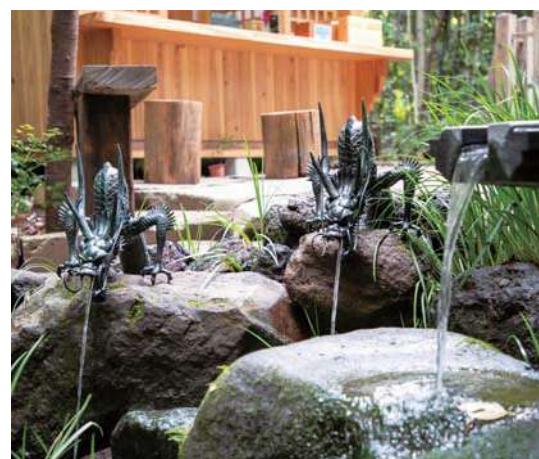
新元号の「令和」は万葉集「梅花調卅一首并序」が出典とされ、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められている」との発表がされた。新元号の美しく花が咲き女性的な雰囲気からさくらの記念品を作るこ



当分祠の鎮座する秦野は全国的にも有数の食用桜の生産地。秦野の里山にて当分祠の有志信徒の協力のもと春先に丁寧に手摘みし厳選したさくら

の花を使用しております。  
秦野名産の桜を用いた  
オリジナル金平糖の製作  
に続き、当分祠で採取か  
ら加工・デザインまで手  
掛けた厳選の一品です。

は慶長十四年より湧水する「ゆずりの水」が溢れ、生命力溢れる幻想的な鎮守の社となつております。また、環境省指定の全国名水百選にも選定されるこの湧水を取り、県内外よりお水とりの人々で賑います。



同年十一月に湧水・お水取り所の整備が完了し、新たに二匹の龍の口からお水とりができるようになり、水場が設置された。

◆正月の三が日普段は閉ざされております御社殿の御扉を開扉し、ご神体の龍蛇神様を直接拝むことが叶います。龍蛇神の社の傍らには神殿番をする巫女が参拝の皆様に新年のお神酒或いは「秦野の

名水」を授与しております。尚、感染予防の観点からペットボトルでのお持ち帰りを推奨します。初詣の際には是非とも足をお運び下さい。

## 賽銭箱の新調



の賽銭箱の補修・新調が完了した。参拝の増加に対応し混雑解消を図るために新たに二台の賽銭箱を新調。製作は宮大工の諸星建築によるもので総ケヤキ作りの重厚な仕上がり。

ソーシャルディスタンスをとるためにも賽銭箱の間口を大きく広げ、スマートinezに参拝できるようにとの意味合いもある。縁結び・諸願成就・病氣平癒など、賽銭箱はたくさんの方の参拝者の祈りを受け止めてきた重要な神具である。悠久の歳月を通じて令和の時代も変わらぬ人々の祈りを見届けることだろう。



◆丑年正月 每年正月には期間限定で干支を象ったかわいらしき中最を奉製しているが、今年は牛を象った素朴な最中。撫牛信仰にあるように「病気平癒」「諸願成就」の象徴とされ、古くより開運の縁起物として愛されてきた。正月限定の八雲庵のオリジナル和菓子の一つです。

◆美保岐餅  
美保岐餅は、出雲国造（貞根県出雲大社宮司）の御代替りの時に宮中に奉獻される三色の「美保岐玉」にちなんで謹製された白赤・青の生菓子です。長寿と健康を祈る縁起のいいお餅ですので、慶事の際の贈り物や年賀の手土産にご利用下さい。

八月十三日～十六日 （旧暦お盆参り）	出雲大社教団大祭 おぐにがえり（島根県）
九月九日	祖靈社みたままつり
九月二十三日	出雲大社相模分祠例祭
秋季祖靈大祭（祖靈社）	秋分の日
旧暦十月十日	新暦十一月十四日
神迎祭	出雲大社（島根県）
旧暦十月十一日～十七日	出雲大社（島根県）
年越の大祓	神在祭
十一月 七五三	菊花展
十二月三十日	（月毎の祭典）
年越の大祓	◆毎月一日 十時三十分
祖靈社・月次祭	出雲大社相模分祠月次祭 （参列自由・予約不要）
（みたままつり）	◆毎月第一日曜日十五時
（参列自由・予約不要）	（参列自由・予約不要）



新嘗祭は最も大事なお祭りの一つで、その年に収穫された穀物をご神前にお供えをして神恩感謝の祭事が行われる。栗は日本古来より五穀（いつつのたなつもの）として重宝され、古代には煙作作物の奨励筆頭として挙げられた。五穀は時代により内容の変化があるが、栗はいつの時代でも米と麦と並び重要な作物とされてきた。夏越大祓では有名な備後国風土記記載の蘇民将来に関する神話に於いても、蘇民将来が素戔鳴尊をもてなした際に供されたのは栗飯であつた。

この事からもわかる通り、栗は稗と並び日本人の主食として庶民に食されてきた。第二次世界大戦後、米が主食として十分な供給量を確保できるようになると次第に栗を栽培する量は減り、今では主食として食べられていました。ウルムに於いてその栄養価が見直され、ミネラルや食物繊維を多く含み、米と比較して低カロリーでも同じように五穀米として食べられています。

また、昨今の健康ブームに於いてその栄養価が多く栽培されている。また、昨今の健康ブームに於いてその栄養価が見直され、ミネラルや食物繊維を多く含み、米と比較して低カロリーでも同じように五穀米として食べられています。

一先祖供養は祖靈社でー  
出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖靈祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけではなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。



### 永代供養付き納骨堂のご案内

当分祠の傍らに鎮座する祖靈社は、日本人のご先祖様の御靈をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。

### 一納骨堂の利用法

当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも新たに神式に改めることが可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・供養を日々ご奉仕します。祖靈社のお預かり期間は原則として一年以上三十三年までとなります。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、秦野の里山自然に還ります。のちの管理料など不安・問題も解消できます。たくさんの方々の祈りを集めます。たくさんの方々の祈りを集めます。お参りに来られる神社で安心の供養ができます。普段よ

◆みたままつりのご案内  
祖靈社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同のみたままつりを斎行しております。（参加無料）神樂をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご名前を一人ずつお読み上げして丁寧に供養致しま

要・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで（要予約）神事後での直会（会食）も隣接出雲記念館で出来ます。祖靈社で斎行するとも御自宅、靈園への出張祭典も可能です。

### 納骨堂の祭祀料 三十二万円／



令和二年十一月二十三日に宮中にて斎行された新嘗祭に於いて、この度、草山清和分祠長と崇敬者有志によつて栽培された穀穂が新嘗祭献上品として皇室に献上された。神奈川県では各農協の持ち回りで毎年新嘗祭の穀物を献上していたが、栗生産者不足により、この数年は米のみを献上し、昨年の大嘗祭に於いても神奈川県からは栗の献上は行われていなかつた。

そのことを懸念し、早速分祠長が自ら所有の畑で栗の栽培を始めた。令和二年は当分祠と縁の深いJAはだのが神奈川県の担当であり、分祠長以下有志により初めて栗を栽培し丁寧に収穫されたもの

新嘗祭とは天皇陛下が、神嘉殿において新穀を皇祖はじめ神々にお供えになつて、神恩を感謝する祭儀である。陛下自らも新穀をお召し上がりになる、宮中恒例祭典の中の最も重要なものの天皇陛下自らご栽培になつた新穀もお供えになる。全国の神社に於いても、

秦野最大級のケヤキの樹林帶の中にある境内は、樹齢百年を超える梅の古木で囲まれます。例年、立春から二月頃が梅花の見頃となつております。春の息吹を感じ、梅花を見頃ながらお過ごし下さい。期間中は境内で甘酒（有料）を振る舞つています。

△甘酒作り  
厚木の老舗「黄金井酒造」の酒粕を材料に巫女が手作りで作っております。一ヶ月にわたる梅まつり期間を通じて約500トルボトルを振る舞つています。体ほどもあ

秦野元氣祭り  
秦野を元気つけよう！と思いから『秦野元氣まつり』春の陣（4月）を令和三年四月境内にて予定。県内各地のよさこい連に立春から二月頃が梅花の見頃となつております。春の息吹を感じ、梅花を見頃ながらお過ごし下さい。期間中は境内で甘酒（有料）を振る舞つています。

△梅祭り開催△  
午前九時～午後三時三十分迄

時間かけて丁寧に作ります。

本年新たに高校卒業して巫女さんの奉職がありました。初々しく巫女の作法を学ぶ傍ら、大神様へ奉納する巫女舞の練習も欠かせません。出雲大社で奉納される神樂は山陰地方に古くより伝わる独自の音樂：出雲神樂で、出雲地域に於きましても大変多様な社中に受け継がれ、今も地域それが独自の特徴をもつて伝統文化として伝承されています。

当分祠におきましても平素より舞や太鼓・笛等の神樂の稽古をしながら社頭の奉仕をします。また、出雲神樂だけではなく二月十一日の紀元祭（建国記念日）に奉納する浦安の舞も勉強しています。

通常の社会では見かけいますが、初めての職員でも鍛錬を重ね大神様に奉納することが叶います。

## 皇室への献上品 栗（あわ）の栽培

## 令和二年 新春行事

## 巫女舞・奏楽稽古の風景



太鼓や笛の音色が流れ、厳肅な神事が執り行われる。当社では見慣れた社頭の光景でございますが、見えない努力の積み重ねが、あつて初めて神様にお仕えすることが叶います。

